

社会資本総合整備計画

ふるかわ ちく
古川地区

みやぎけん おおさきし
宮城県 大崎市

平成24年3月

都市再生整備計画(第4回変更)

ふるかわちく
古川地区

みやぎけん おおさきし
宮城県 大崎市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	ミヤギケン 宮城県	市町村名	オオサキシ 大崎市	地区名	フルカワ、チク 古川地区	面積	205.0 ha	
計画期間	平成	19 年度 ~	平成	23 年度	交付期間	平成	19 年度 ~ 平成	23 年度

目標

中心市街地との連携を図り、利便性が高く、安全・快適で豊かな生活環境が整備され地区住民が一体となりいきいきと暮すまちづくり

目標1 安心かつ快適で豊かな生活環境の形成

目標2 中心市街地へのアクセス向上

目標3 住民がいきいきと暮すまち

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本市は平成18年3月31日に旧古川市、旧松山町、旧三本木町、旧鹿島台町、旧岩出山町、旧鳴子町、旧田尻町の1市6町の合併に誕生した新市であり、仙台市から新幹線で15分に位置する、県北部の中心都市となっている。
- ・本地区は、旧古川市の中心市街地の南西に隣接し、東北自動車道古川IC・JR古川駅からも近く、さらには国・県道等の交通体系に恵まれているため、旧古川市の南の玄関口としての発展が期待されてきた。
- ・国道4号の西側においては、無秩序な開発を防止し、健全かつ良好な新市街地を形成するために、組合土地画整理事業が平成8年度から実施し、事業の進捗に併せ、平成14年度から平成18年度にかけて『まちづくり総合支援事業』を導入し、道路緑化施設や公園などの整備を進めており、順調に居住人口を増やしている。また、土地画整理事業地は、『生涯学習のむら構想地』として位置づけられており、現在既に生涯学習センター、小学校、中学校、保育所、児童センターが整備され、引き続き子育て支援施設の整備が計画されており、教育・交流拠点の形成が進んでいる。
- ・国道4号の東側の既成市街地においては、比較的小規模な市街地形成が不規則に行われてきたため、農用地と市街地が混在しており、狭隘な道路が多く、舗装等が劣化したところが見られるなど居住環境として様々な問題を抱えており、人口も減少傾向にある。また、国道4号西の新市街地と中心市街地の中間に位置することから、国道4号線を挟んだ東西連携を図る上でのネックポイントとなっている。
- ・JR古川駅周辺の中心部を結ぶ東西方向の交通は、南北交通軸に比べて脆弱であるため、既成市街地の各所で交通混雑が発生している。
- ・下水道は、公共下水道事業区域となっているが、既成市街地と古川南土地画整理地区に挟まれた一部区域で認可取得が出来ない状況となっている。
- ・計画区域内では、良好な都市環境の形成を図るため、住民団体等による地区内の美化運動として花いっぱい運動などの活動が行われている。

課題

本地区においては、土地画整理事業により新たに生み出された新市街地と既存の市街地との融和を図り、中心市街地との連携のもと、ゆとりと潤いのある心豊かな生活を実感出来る生活空間の形成に努め、居住人口の拡大を目指す。

【安心かつ快適で豊かな生活を支える基盤整備】

- ・既成住宅地区などにおいて狭隘な道路や未整備水路があり安全で快適な居住環境を形成するため良好な道路及び水路整備が必要である。
- ・既成市街地内で下水道未整備区域があり、環境負荷軽減や快適な住環境形成のため街路整備に合わせ先行的に下水管の埋設を行う事が望まれる。
- ・住民が安全で安心して暮らせるまちづくりのため、防犯に配慮したまちづくりが必要である。
- ・居住地区内への通過交通等の流入を防ぎ、子どもたちの声や笑顔があふれる快適な生活空間を形成する必要がある。
- ・沿道緑化や案内板整備等により水・緑豊かな歩行空間を整備し、歩いて楽しい街並みを創出する必要がある。

【中心市街地へのアクセス性の向上】

- ・中心市街地への快適なアクセスを確保するため、東西交通軸を強化する必要がある。
- ・地区内には狭隘かつ自動車交通量の多い路線があるため、児童や高齢者等の交通弱者の増加を踏まえた、歩行者や自転車などにやさしいまちづくりを進める必要がある。

【地域住民が一体となりいきいきと暮すまち】

- ・魅力ある居住環境を創出するため、地区内の公園、緑地や河川などの自然環境を保全する必要がある。
- ・地区内の小中学校や高等学校、生涯学習センター（パレットおおさき）、建設予定の社会教育複合拠点施設などの連携、活用を図る必要がある。
- ・新規住民に地域への愛着やまちづくり意識を醸成するために、地区の住民活動への参加や生涯学習センターの利用を促進し地区内の新旧住民交流を促進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ・古川市都市計画マスタープランにおいて、旧古川市の市街地は『駅中心型市街地構造』、『放射環状型交通網』の形成を目指すこととしている。
- ・また、本地区に該当する第5小学校区の目標を『人と心を育む利便性の高いまちづくり』としており、良好な住宅地の整備や生涯学習拠点の形成等による居住環境の整備・改善を進めることとしている。

目標を定量化する指標

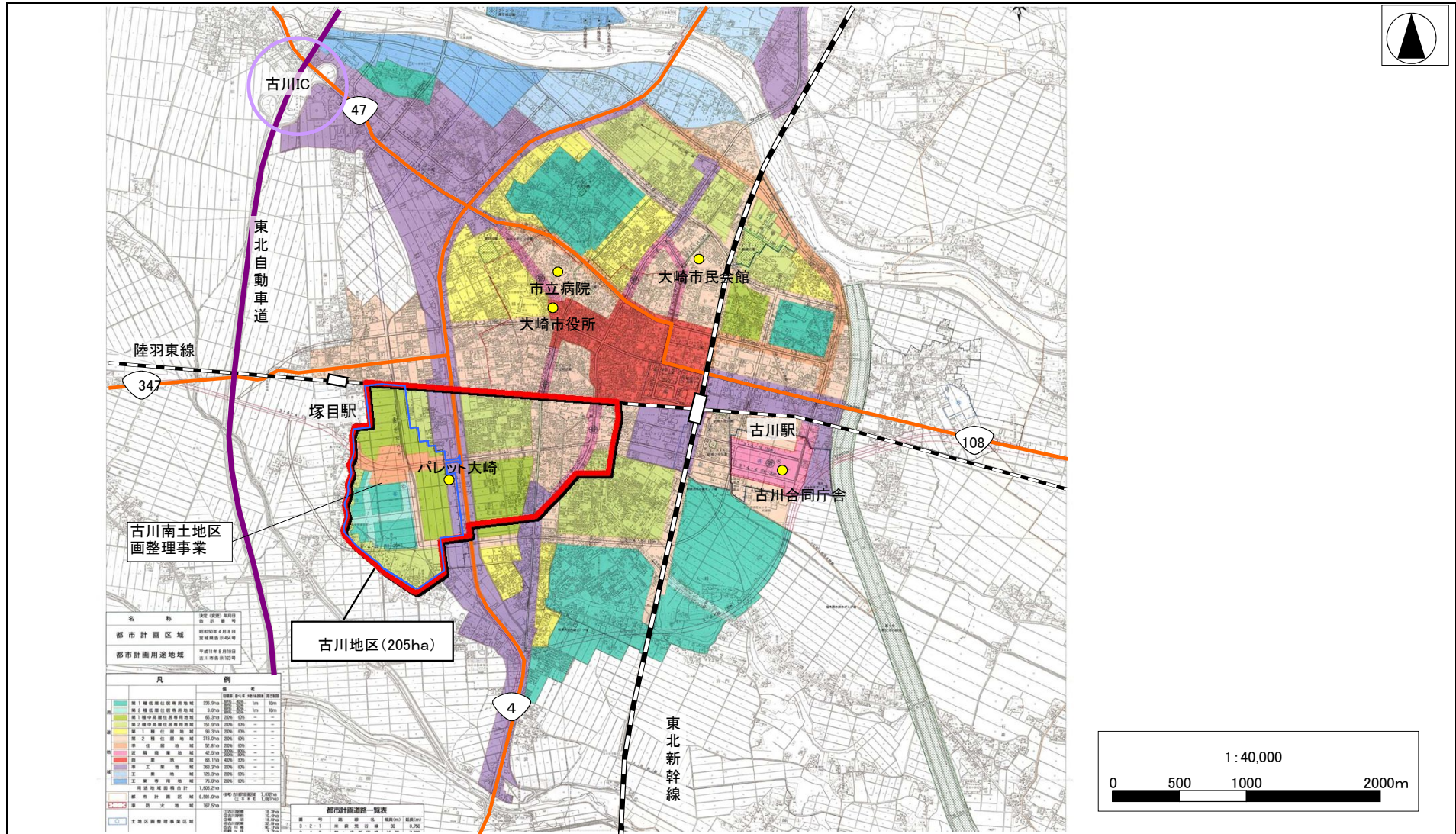
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	目標年度
地区内居住者数	人	地区内の人口	6,560	H18	7,500	H23
中心市街地へのアクセス時間	分	パレットおおさきから中心市街地 へのアクセス時間	12	H18	7	H23
地域活動参加者数	人	地域活動への参加者数	80	H18	150	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 安心かつ快適で豊かな生活を支える基盤整備</p> <p>①快適な生活基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 良好な街区を形成するため既存市街地内の狭隘な道路や老朽化した道路の改良整備 住環境の改善や環境負荷の低減を図るための下水道や排水路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活道路小金原1号線整備事業(基幹事業/道路) ●市道南町米倉線整備事業(基幹/道路) ●区画道路古川江線整備事業(基幹/道路) ●区画道路北稲葉1号線整備事業(基幹/道路) ●区画道路並柳谷地線整備事業(基幹/道路) ●水路整備事業(提案事業/地域創造支援事業) ●下水管理設事業(提案事業/地域創造支援事業) ●下水管理設事業(関連事業) ●古川南地区土地区画整理事業(関連事業/市)
<p>②安全な生活を支える生活基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な居住環境を形成を目指し、居住地区内への通過交通を制限し車両の走行速度を低減するハンプを整備 夜間の自転車や歩行者の安全や、犯罪から居住者を守るために防犯灯の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路舗装整備事業(基幹事業/道路施設) ●防犯灯整備事業(提案事業/地域創造支援事業)
<p>③豊かな生活を支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区住民はもとよりバレット大崎等へ来訪する地区外住民も快適に歩ける環境を形成するため道路緑化や歩行動線、サイン等の整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誘導案内版整備事業(提案事業/地域創造支援事業) ●緒絶川歩行区間整備事業(提案事業/地域創造支援事業)
<p>整備方針2 中心市街地へのアクセス性向上</p> <p>①幹線道路網の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住者の利便性や地区の拠点機能を生かすため、地区と中心市街方面を結ぶ広幅員の歩車道分離された幹線道路を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●都 李埴飯川線他1路線整備事業(基幹事業/道路)
<p>整備方針3 住民が一体となりいきいき暮すまち</p> <p>①住民活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区住民が交流し、豊かな自然環境に触れ、また美しい景観を生み出すための地域活動を行うことを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり活動支援事業(提案事業/まちづくり活動推進事業)
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

古川地区(宮城県大崎市)	面積	205.0 ha	区域	南新町、南町二丁目、三丁目、四丁目、栄町、小稲葉町、北稲葉一丁目、三丁目、稲葉
--------------	----	----------	----	---



古川地区(宮城県大崎市) 整備方針概要図

目標	中心市街地との連携を図り、利便性が高く、安全、快適で豊かな生活環境が整備され、地区住民が一体となりいきいきと暮すまちづくり	代表的な指標	地区内居住者数	人	6560	(18年度)	→	7,500	(23年度)
			中心市街地へのアクセス時間	分	12	(18年度)	→	7	(23年度)
			地域活動参加者数	人	80	(18年度)	→	150	(23年度)

